

PBL勉強会『RYU-SCEO』の活動紹介

PBL勉強会代表 青木 泰孝 (6年次)

医学科同窓会の皆様、はじめまして。6年次青木泰孝と申します。

今回は、ハワイ大学式PBLという学習方法を取り入れた勉強会teamである『RYU-SCEO』の活動を紹介させていただきます。活動は毎週木曜日20時～22時まで臨床講義棟一階にて行っており、現在メンバーは4～6年生を合わせた総勢25名になります。

ご存知の方も多いとは思いますが、PBL (Problem Based Learning) を直訳するならば『症例に基づいた学習法』ですが、現在では全国の多くの大学医学部がカリキュラムとして導入している教育・学習方法です。

目の前に患者さんがいるという設定のもとで、必要な情報の収集・分析・問題解決までのプロセスをディスカッション形式で見つけていく、具体的には実際の症例を用いて医師役と患者役を立て、その場で問診を行い、鑑別診断から検査方法までを実際の診療に沿った形で検討を重ねるスライド(英語)を使用した全員参加型勉強会、これこそが我々が実践するPBLです。

PBLを行う上で我々が特に気を付けていることは、鑑別疾患を挙げる際にcommonであるかcriticalであるかをしっかり踏まえること、また必要な検査については、なぜその検査が必要か？さらには予想される結果まで参加者に説明するということです。また、勉強会で解決できなかった事項は担当者を決め、Learning issuesとして次週までに調べ、メンバーにプレゼンすることにしております。

これまでの一方向性の授業とは異なり臨床に即した思考プロセスが踏めること、知識のアウトプットが出来る場であること、そして何より自主学習に対してモチベーションが上がるなど、この勉強会には大きなメリットがあると考えております。

さらに、第一線で活躍する先生とセッションを行いたいというメンバーからの要望も加わり、これまで沖縄内外から多くの先生方をお招きし、セッションをさせて頂きました。さらに、ハワイ大学から医学教育で

有名な齊藤中哉先生にお越しいただき、本場ハワイ大学式PBLを実践していただきました。また沖縄海軍病院からも先生をお呼びし、英語でセッションを行うなどinternationalな活動の場にもなっております。

また、自分たちの活動の改善を図りたいという思いから、昨年、齊藤中哉先生のお力添えもあり日本医学教育学会にて琉球大学を含めた6大学が集まり、日野原重明先生とのセッションを行う機会を得ることができました。今年も夏に大阪で行われた日本医学教育学会にて演題発表を行ってまいりました。このような機会を得ることで先生方から多くの意見を頂き、我々の活動にフィードバックしております。

一方で我々の抱える問題点は学生主体の為、実際の臨床との隔たりを感じていること、鑑別診断や検査などを考える上で間違った方向に進んでいても気付けなかったことなどがあります。

この問題への対応として、HPやBlogを開設し、現場で活躍されている先生方からコメントを頂くという形を導入しました。これによって臨床における考えなど学生レベルでは到底辿り着くことが難しい問題も解決できるのではないかと考えております。

もし皆様のお時間がございましたら、HPやBlogを覗いていただきたいと思います(『琉球大学 PBL』で検索お願いします)。また、勉強会で扱った症例をBlogに掲載していますので、症例に対するアドバイスなど頂けましたら、RYU-SCEOメンバー一同大変嬉しく思います。

RYU-SCEOには男女学年問わず本当に『情熱』を持ったメンバーが揃っています。そして何よりも沖縄には、そのような熱い思いに応えていただける環境があること、我々は常にこのことに感謝の思いを抱きながら、これからも常に改善を図り、何よりも楽しく学び続けていきたいと考えております。最後になりましたがRYU-SCEOを今後ともどうかよろしくお願い致します。

